

# 司書教諭・図書館担当教諭 学校司書におすすめする本

2018/9/10

## ○入門編(理論、管理・運営を中心に)

書名、編著者、出版社、発行年、本体価格

表紙画像

内 容 (目 次)

推薦

	書名、編著者、出版社、発行年、本体価格	表紙画像	内 容 (目 次)	推薦
1	『学校図書館ABC 運営から指導まで』改訂3版 学校図書館研修資料編集委員会/編 全国学校図書館協議会 2004 2,000円+税		1章 学校図書館の運営と管理 2章 学校図書館資料の選択と整理 3章 学校図書館の活動 4章 学校図書館と読書指導 5章 学校図書館の利用指導 6章 学校図書館のめざすもの	必
2	『司書教諭・学校司書のための 学校図書館必携 理論と実践 改訂版』 全国学校図書館協議会/監修 悠光堂 2017 4,200円+税		第1章 学校図書館の理念と学校教育 第2章 学校図書館の法令と教育行政 第3章 学校経営と学校図書館 第4章 司書教諭と学校司書 第5章 学校図書館の運営 第6章 学校図書館メディア 第7章 学校図書館と指導・支援 第8章 学校図書館活動 第9章 施設・設備	必
3	『一歩前へ！ 学校図書館』 ～知ろう、つかもう、やってみよう～ 熊谷 一之/著 全国学校図書館協議会 2016 2,000円+税		1～4 知ろう 学校図書館教育の効果 他 5～7 指導計画をどうするか 8～9 図書館整備をどうするか 10～11 読書感想文をどうするか 12～15 読書指導をどうするか 16～18 調べ学習の指導をどうするか 19～21 資料をつくろう 22～24 公共図書館を知ろう教えよう 25～27 イベントをしよう 28 選書をどうするか 29～30 情報を発信しよう 31 次年度へつなげよう	MO KN
4	『学校図書館活用教育ハンドブック こうすれば子どもが育つ学校が変わる』 山形県鶴岡市立朝陽第一小学校/編著 国土社 2003 2,500円+税		はじめに 学校の風が変わった ～図書館活用教育をすすめる「風」が吹いた 第1章 本が好き、図書館が好き 第2章 読書を進める図書館づくり～魅力ある図書館に～ 第3章 気軽に「調べ学習」できる図書館づくり ～子どもの学びたい気持ちに応える図書館に～ 第4章 読書を生かして、心を育てる授業づくり 第5章 調べ学習を通して、考える子どもを育てる授業づくり 第6章 地域・保護者との連携をすすめる図書館づくり 第7章 経営の基盤に「学校図書館」をおいたとき、学校が変わった 第8章 司書教諭・学校司書・図書主任の役割分担と連携 終章 明日の「致道図書館」に向けて おわりに うれしい成果が、全国発信への勇気を生んだ	KN
5	『学校図書館活用教育ハンドブックⅡ みつける つかむ つたえあう ～学校図書館を活用した授業の創造～』 山形県鶴岡市立朝陽第一小学校/編著 国土社 2006 2,400円+税		第1章 授業を創る ①単元を構成する ②「かしこい子ども」を育てる調べ学習 ③調べ学習の指導過程(国語科) ④調べ学習の指導過程(総合的な学習) ⑤日々の授業に向けた司書教諭、学校司書、担任との連携 ⑥学校図書館としての資料の準備と支援 第2章 学習プランと図書館のかかわり ①「調べ学習」を支える担任・司書教諭・学校司書の役割 ②調べる楽しさ、伝える喜び 3年「生き物のふしぎ」 ③熱い思いを重ねて 5年「日本語の泉」 ④図書館まるごと「学び」の場 特別支援学級の実践 第3章 図書館活用教育の授業実践 各学年	KN
6	『学校図書館の教育力を活かす 学校を変える可能性』 塩見 昇/著 日本図書館協会 2016 1,600円+税		1章 学校に図書館を設置すること 2章 高まる学校図書館への期待 3章 図書館のはたらきを備える学校 4章 学校図書館の教育力 5章 教育力の7項目を個別にみる 6章 教育力を活かせる要件 7章 これからの学校づくりと学校図書館 教育力を活かした学校図書館づくり 課題と展望	KN

7	<p>『<b>学びと育ちを支える学校図書館</b>』</p> <p>渡邊 重夫/著</p> <p>勉誠出版 2016 2,400円+税</p>		<p>第1章 人類の記憶を還元する図書館 ～図書館規制、そして情報統制の歴史に学びつつ</p> <p>第2章 すべての子どもに学校図書館を ～「図書館学の五法則」に学ぶ</p> <p>第3章 資料を軸に学校図書館の「満足度」を考える ～変えることは、変わる</p> <p>第4章 「学校図書館の自由」 ～学習権概念を媒介に</p>	MO
8	<p>『<b>学校図書館の可能性</b> 自ら考え、判断できる子どもを育てる』</p> <p>渡邊 重夫/著</p> <p>全国学校図書館協議会 2017 2,500円+税</p>		<p>第一章 「不可欠」的存在としての学校図書館</p> <p>第二章 アクティブ・ラーニング ～「学び方の学び」を支える学校図書館</p> <p>第三章 「セーフティネット」としての学校図書館 ～子どもの「学び」と「育ち」を支える</p> <p>第四章 図書委員会活動の意義と内容 ～自主性、主体性を基礎に子どもを育てる</p>	MO KN
9	<p>『<b>学校経営と学校図書館</b>』改訂新版</p> <p>野口武悟・前田 稔/編著</p> <p>放送大学教育振興会 2017 3,200円+税</p>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校図書館の理念と教育的意義</li> <li>2 わが国の学校図書館の歴史</li> <li>3 教育行政と学校図書館</li> <li>4 学校図書館の経営</li> <li>5 学校図書館の施設、設備および備品</li> <li>6 学校図書館メディアの選択と管理、提供(1)</li> <li>7 学校図書館メディアの選択と管理、提供(2)</li> <li>8 司書教諭の任務と役割</li> <li>9 司書教諭の養成と研修</li> <li>10 学校図書館活動・概論</li> <li>11 学校図書館活動の事例(小・中学校)</li> <li>12 学校図書館活動の事例(高等学校・特別支援学校)</li> <li>13 図書館協働とネットワーク</li> <li>14 学校図書館の評価と改善</li> <li>15 研究および課題と展望</li> </ol>	KN
10	<p>学校図書館から教育を変えるII 『<b>学校図書館の力を活かす</b>』</p> <p>五十嵐 絹子・藤田 利江/編著</p> <p>国土社 2013 1,900円+税</p>		<p>第I章 学校図書館を活かす司書教諭たちの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業がつくる本との出会い</li> <li>・地域学習をどのように進めたか</li> <li>・学校図書館が学びを変える～専任司書教諭としての取り組みから</li> <li>・「働きかけ」を核にした学校図書館づくり</li> <li>・司書教諭にできること～公立中学校の現場から</li> <li>・つながる力・つなげる力を育む学校図書館</li> </ul> <p>第II章 学校図書館を学校経営の中核に据えた校長の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長の仕事は教育をつなげる</li> </ul> <p>第III章 学校図書館を動かす行政・教育委員会の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県の学校図書館活用教育</li> <li>～学びを支える心をはぐくむ学校図書館をめざして～</li> <li>・対談 京都市の学校図書館をビフォー・アフター</li> </ul>	KN
11	<p>学校図書館から教育を変えるIII 『<b>学びを拓く授業モデル</b>』</p> <p>五十嵐 絹子・藤田 利江/編著</p> <p>国土社 2014 1,900円+税</p>		<p>第I章 司書教諭たちの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに学ぶ力、共に生きる力を</li> <li>・読書指導を考える</li> <li>・授業づくりを支える司書教諭の役割</li> <li>・自らの考えを深め、確かに豊かに表現できる 児童の育成をめざして、</li> <li>・「図書館の指導と活用の計画」から始まる！</li> </ul> <p>第II章 校長たちの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館活用教育を学校経営の中核にすえて</li> <li>・チームワーク・フットワーク・ネットワークで創造する</li> <li>・子どもと学校を変えた読書活動</li> </ul> <p>第III章 学校図書館を支える実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校改革を支える図書館づくりと校内体制</li> <li>・学校図書館活の活用を支える</li> </ul>	KN
12	<p>シリーズ 読書コミュニティのデザイン 『<b>本を通して 世界と出会う</b> 中高生からの読書コミュニティづくり』</p> <p>秋田喜代美・庄司一幸/編著</p> <p>北大路書房 2005 1,900円+税</p>		<p>1部 知識社会における読書の意味</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1章 電子メディア時代の読書経験</li> <li>2章 21世紀型読書コミュニティのデザイン</li> </ol> <p>2部 本と出会う教育の場のデザイン～新たな読書コミュニティの創造</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3章 教室からの読書コミュニティづくり</li> <li>4章 学校からの読書ネットワークづくり</li> <li>5章 市民読書ネットワークをつくる</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本で地域がにつながる</li> <li>・本で世界が見えてくる</li> </ul> <p>※「チーム読書」の理論的バックボーンとなる本</p>	KN MO
13	<p>シリーズ 読書コミュニティのデザイン 『<b>本を通して 絆をつむぐ</b> 児童期の暮らしを創る読書環境』</p> <p>秋田喜代美・黒木秀子/編著</p> <p>北大路書房 2006 1,900円+税</p>		<p>1部 読書と発達</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1章 言葉の力と絆を育てる読書コミュニティへ</li> </ol> <p>2部 読書で育つ場のデザイン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2章 読み手のいる場</li> <li>・地域での読書環境</li> <li>・学校という読書環境</li> <li>・本のある経験と暮らしの中で育つ</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>3章 書き手のいる場</li> <li>4章 子どもに本を手渡す仲介者のいる場</li> <li>・児童書専門店から見た子どもと読書</li> <li>・公共の場が「ほん」と子どもをつなぐ</li> <li>・すべての子どものための読書コミュニティづくり</li> </ol>	KN MO